

認定品名

CNF強化樹脂 (Cellenpia Plas)

事業者名

日本製紙株式会社

(〒417-8520 住所 静岡県富士市比奈798)



CNF/CNF関連技術の利活用のポイント

- 日本製紙は、CNF強化樹脂の製造プロセスを、京都大学を拠点として実施された国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）のプロジェクト（2013～2019年度）において開発しました（京都プロセス）。原材料である製紙用パルプを樹脂混練押出機中で樹脂とともに解繊する簡易なプロセスを特徴としています。
- 製紙用パルプが原材料であることから、自社設備の活用により、低コストで安定供給が可能です。
- 植物由来のCNFを強化材として使用することで、他の強化材と比較して、再使用が可能であり、リサイクル性が高まります。

認定品のアピールポイント

CNF強化樹脂（製品名：Cellenpia Plas）は、CNFをポリプロピレンやナイロン6などの樹脂へ混練・分散することにより製造される高強度な新素材で、自動車、建材、家電などでの利用が期待されています。**部材の軽量化が図れることに加えて、マテリアルリサイクル性に優れるため、プラスチック使用量の削減につながります。**

日本製紙は、「CNF強化樹脂」の大量製造技術と本格的な供給体制を早期に確立することで、「木とともに未来を拓く総合バイオマス企業」として、**新素材・CNFの市場創出の強化と、減プラスチック社会の構築や地球温暖化対策（CO₂を主とした温暖化ガス排出削減）**に貢献してまいります。

お問い合わせ先

(担当部署) 研究開発本部 富士革新素材研究所

(Webサイト・問合せ先) <https://www.nipponpapergroup.com/inquire/>